

令和3年度 第1回教育文化センター専門委員会 会議録

1 日時

令和3年5月21日(金) 午後3時30分から午後5時

2 場所

教育文化センター206号室

3 出席者

- (1) 伊佐治教育長
- (2) 委員 松田校長、藤松校長、徳武校長、重盛教頭、大王教頭、小松教諭、田代教諭
矢代教諭、倉科教諭、合内指導主事、一ノ瀬館長
- (3) 事務局 加藤所長、倉田課長補佐、小林指導主事、上條指導主事、望月主任、上條館長

4 内容

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 自己紹介
- (5) 会議事項

ア 教育文化センター専門委員会の進め方について

- (ア) 事務局から教育文化センター専門委員会の概要、目的等を説明
- (イ) 事務局から令和3年度教文学習の概要、目的、授業の内容等を説明

【質問や意見等】

- ・委員 教文学習の1日の学習で、課題解決や継続的な学びをどう推進できるのか。
事務局 学びの継続をするためには、学校連携をより密にし、センターでの学習及び学校へ帰ってからの取組みも必要となる。
- ・委員 今年度協議した内容は、いつ反映されるのか。
事務局 令和4年度以降。
- ・委員 教文学習と出前学習の違いを教えてほしい。
事務局 教文学習が中止となった場合に出前学習を行うが、施設や設備等が違うため、同じ内容はできない。
- ・委員 中学校教文学習では、GIGA端末を活用した授業を提案してほしい。
- ・委員 学校ではできない、ここでしかできない内容を経験することが大切。プラネタリウムや電子顕微鏡等ダイナミックなものが学びを深め、意欲付けにつながる。
- ・委員 教育「文化」センターであるなら、科学等だけでなく、旧山辺学校等の文化的な要素も広めてほしい。
- ・委員 学校での継続的な学びを支えるため希望学習や複数回の出前学習等を検討してほしい。

- ・委員 分野横断的な学習等、新しい取組みを生かして進めてほしい。

(ウ) 事務局から令和3年度教文学習の専門委員の視察について説明

イ 今後の予定

事務局から次の開催日等を説明

ウ その他

教育文化センターの事業全般について質問や意見をもらった

【質問や意見等】

- ・委員 教文学習の補完や、興味のある子の継続的な学びを保障するため、休日等に学ぶ機会を設定できないか。

事務局 各種講座への参加等は可能だが、現状の体制では他業務があるため、個別の対応は難しい。

- ・委員 教文学習の学校アンケート集計や活動報告書等、専門委員の業務内容や量は例年並みの予定なのか。

事務局 専門委員会のあり方を例年と大きく変更しており、アンケート集計は事務局が担うことを決めた。活動報告のまとめ等については今後検討したい

- ・委員 新科学館整備事業の工期スケジュール等の変更及び令和4年度は教文学習を実施できるものとして意見を出していくことでよいか教えてほしい

事務局 着工は早くとも令和5年度以降にずれ込むため、令和4年度は教文学習を実施できるが、それ以降は現状では未定

(6) 閉会